

令和8年度 主要事業の概要

新年度のスタートにあたって

新年度のスタートにあたり、今年度の当初予算における市政運営の基本的な考えを申し上げます。

令和8年度は、本市の新たなまちづくりの指針である「第7次焼津市総合計画」の初年度であり、また、市制75周年の節目の年でもあります。総合計画の推進にあたっては、将来都市像である「やさしさ・愛しさ・いいものいっぱい世界へ広げる水産文化都市 Y A I Z U」の実現に向け、4つの横断的視点と7つの政策を掲げ、分野の枠を超えた総合的かつ着実な施策を展開してまいります。

まず、4つの横断的視点の1つ目は「DX・GXの推進」です。デジタル技術を活用して、行政サービスや市民生活、地域産業のあり方そのものを変革することで、利便性・生産性を高めるDXと、脱炭素社会への構造的な転換を通じて、環境と経済が調和した持続的な発展を目指すGXを推進してまいります。

2つ目は「地域経済循環の促進」です。地域資源や人材を生かし、市民・事業者・行政が連携して、価値を創出・再投資する好循環をつくり、選ばれるまち、暮らし続けられるまちの実現を目指します。

3つ目は「地域共生の創出」です。多様な主体が支え合い、互いに、理解・協力する、共生の仕組みを構築し、誰もが安心して暮らし続けられる地域社会を実現します。

4つ目は「人口減少対策の推進」です。関係人口の創出・拡大とともに、移住・定住を促進し、地域に根差した暮らしとつながりを生み出すことで、地域

の活力と未来への可能性を広げます。

次に、7つの政策の1つ目は「こども・教育」です。安心して子どもを産み育てられる環境を整え、質の高い教育の充実に努めます。全ての子どもが自分らしく成長できるまちを目指します。

2つ目は「健康・医療・福祉」です。健康づくりから医療、介護、福祉まで切れ目のない支援体制を整え、住み慣れた地域で安心して暮らせる共生社会を実現します。

3つ目は「くらし・環境」です。安全で快適な生活環境の確保、環境保全に取り組み、人と環境が調和するまちづくりを進めます。

4つ目は「生きがい交流・スポーツ・文化」です。生きがいづくりや交流を促進し、スポーツ・文化の振興を通じて、心豊かで活力ある地域社会を築きます。

5つ目は「産業・観光」です。地域産業の振興と観光の推進により、地域の魅力を最大限に生かした活力あるまちづくりを進めます。

6つ目は「防災・都市基盤」です。災害への備えと都市基盤の整備を推進し、安全・安心が日常となるまちを目指します。

7つ目は「行政経営」です。DXやデータ活用による効率的な行政運営と健全な財政基盤の確立により、持続可能な市政を推進します。

今後の市政運営では、急速に進行する人口減少・少子高齢化や、激甚化・頻発化する自然災害、国際情勢や経済環境の変化など、不確実性が高まる時代の中で、複雑化・多様化した課題に的確に対応していくことが求められます。そのため、市民の皆様や企業の皆様へ寄り添いながら、対話を重ね、従来の枠組みにとらわれない柔軟な発想のもと、データやデジタル技術を活用した政策形成、組織横断型のプロジェクトチームによる課題解決など、さまざまな取り組みにチャレンジしてまいります。

令和8年度を、本市の新たな成長と飛躍への確かな一歩と位置付け、将来にわたり誰もが安心して豊かに暮らし続けることのできるまちづくりに、引き続き全力で取り組んでまいります。

市民の皆様のご理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。



焼津市長 中野弘道

市の主要事業

市では、まちづくりの基本理念や将来都市像実現のための政策・施策を示す「第7次焼津市総合計画」のもと、分野の枠を超えた総合的かつ着実な施策を展開してまいります。

令和8年度予算における主要事業の一部を紹介します。詳しくは市ホームページを確認するか、問い合わせください。問合先 財政課 0626-2142



市ホームページ

【凡例】

- 新規**…今年度新たに取組む事業など
- 強化**…既存事業を強化・拡充して取組むものなど
- 将来投資**…新たなまちづくりのための将来への投資となる事業

※写真やイラストはイメージです。実際と異なる場合があります。

4つの横断的視点

①DX・GX

②地域経済循環

③地域共生

④人口減少対策

7つの政策

政策1 こども・教育
こどもの未来を育むまち

政策2 健康・医療・福祉
健やかな笑顔があふれるまち

政策3 くらし・環境
人と環境が調和するまち

政策4 生きがい交流・スポーツ・文化
心も身体も人生も豊かなまち

政策5 産業・観光
地域の魅力を活力に変えるまち

政策6 防災・都市基盤
安全・安心が日常になるまち

政策7 行政経営
未来へつなぐ持続可能なまち

第7次焼津市総合計画

政策1 こども・教育 こどもの未来を育むまち

小学校給食の完全無償化

予算額：3億4,031万円 **将来投資 新規**

保護者負担ゼロ

小学校給食は、今月から完全無償化を実施します。

公立小学校に通う児童1人につき月額5,200円を国が助成し、それを超える費用は市が負担するため、給食費の保護者支払い分はありません。

子育て世帯の経済的負担を軽減することで、子育て支援のさらなる充実を図ります。



校内教育支援センターの充実

予算額：5,788万円 **将来投資 強化**

児童生徒が安心できる居場所づくり

登校はできるが自分のクラスに入りづらい児童生徒が、落ち着いた空間の中で自分に合ったペースで学習・生活できる環境をさらに整えるため、校内教育支援センター（心の教室）の体制の充実を図ります。

今年度からは、全小中学校に配置している「心の教室相談員」の勤務時間を拡大し、児童生徒が安心して居場所づくりを進めます。



中学校給食の物価高騰支援

予算額：2億3,183万円 **将来投資**

物価高騰支援を継続

学校給食は物価高騰の影響で食材費の上昇が続いています。

市では、今年度も継続して物価高騰による食材費の上昇分を負担します。これにより、中学校給食費の値上げをせず、現行の4,900円のまま据え置きます。

時代に合わせた支援を継続し、子育て世帯の経済的負担を軽減します。



子ども医療費の完全無料化

予算額：7億723万円 **将来投資**

子ども医療費の助成

県内トップクラスに充実した独自支援策として、0歳から高校生世代までの医療費の完全無料化を今年度も継続します。

子どもたちが安心して必要な医療を受けられるよう、入院・通院にかかる保険診療分の医療費や、入院中の食事療養標準負担額の自己負担分を市が全額助成します。



児童生徒の就学援助

予算額：1億1,343万円 **将来投資 強化**

保護者の負担を軽減

経済的理由で就学困難と認められる児童生徒の保護者に対し、学用品費や学校給食費などを支給します。

また、物価高騰が続く中、学校休業期間や進級・進級時など、一時的に増大する保護者の負担を軽減するため、令和7年度から実施している学校休業期間の昼食費支援を、拡大し実施します。



小・中学校教育ICT環境整備

予算額：6億3,312万円 **将来投資**

個別最適で協働的な学びのさらなる充実

文部科学省が推進する「GIGAスクール構想」のさらなる推進に向け、児童生徒へ1人1台貸与している端末を更新します。

また、子どもたちの主体的な学びを目指し、AIドリルなどICTを効果的に活用した授業を進めます。

子どもの健やかな成長支援

予算額：1,240万円 **将来投資**

多様な特性を持つ子どもへの支援体制を整備

保護者や保育者などが子どもの特性や関わり方などについて専門的な知識を習得できる研修機会を設けます。また、特性による家庭や現場での困りごとを専門家へ相談できる体制を整備し、全ての子どもが暮らしやすい社会を目指します。

政策2 健康・医療・福祉 健やかな笑顔があふれるまち

大井川庁舎の改修

予算額：5億5,390万円 **将来投資 強化**

スマイルライフ推進センターがオープン

一人一人に応じた「健康維持」と「生きがいづくり」の取り組みを支援する拠点施設として、市役所大井川庁舎内に、スマイルライフ推進センターが令和9年1月にオープン予定です。

また、同センター整備と並行し、新たな健康増進スペースとして、市役所大井川庁舎前広場を再整備します。



熱中症対策

予算額：557万円 **強化**

熱中症の予防・啓発

熱中症の危険性を理解し、適切な行動をとることができるよう、熱中症対策セミナーを開催します。

また、在宅の80歳以上を対象に、熱中症の危険度を簡易的に判定できる「熱中症予防カード」を配布し、熱中症予防の行動につなげるなど、予防・啓発を進めます。



健康・デジタル推進

予算額：4,287万円 **将来投資 強化**

健康アプリで健康増進

健康アプリで市民が楽しみながら健康づくりができる仕組みを展開します。デジタル相談窓口を開設し、市民のデジタル活用を支援します。

今年度は、地域事業者と連携した「やいづ健康応援団」の取り組みを充実させ、協賛品を活用した健康マイレージやアプリ内の健康増進イベントなどのさらなる実施に取り組みます。



令和8年度 主要事業の概要

政策3 くらし・環境 人と環境が調和するまち

ゼロカーボンのさらなる推進

予算額:900万円 **強化**

■環境に配慮した設備の導入支援

ゼロカーボン実現に向け、太陽光発電システム、蓄電池システム、エネファーム、電気自動車などの導入に対し補助を実施します。

また、ゼロカーボンのさらなる推進を図るため、今年度から太陽光発電システムと蓄電池システムの補助件数を拡充します。



地球温暖化防止活動の啓発

予算額:273万円

■持続可能な社会の実現

気候変動、地球温暖化の現状をふまえ、一人一人が環境問題を「自分ごと」として捉えることができるよう、市民向け講演会を実施します。

また、エネルギーの使用状況を把握し、効果的な改善項目を提案する「省エネ診断」を行う中小企業に対し、補助を実施します。



ごみ減量対策事業

予算額:2,204万円 **強化**

■ごみ分別 AI「焼津ごみナビ」を活用

AI技術によるごみ分別案内ツール「焼津ごみナビ」を活用し、分別による資源化を推進します。簡単で分かりやすい分別案内を行うことで、市民の負担を減らします。

また、生ごみ処理容器の設置に対する補助金も引き続き実施します。



政策4 生きがい交流・スポーツ・文化 心も身体も人生も豊かなまち

豊田地域交流センターの整備

予算額:6,177万円 **将来投資**

■豊田地区の拠点が7月にオープン

「生きがいづくり・地域活動・交流」の新たな拠点として、子育て支援センターや芝生広場を併設した、豊田地域交流センターが7月にオープンします。

また、小石川流域の浸水被害を軽減させるための雨水貯留施設を併せて整備します。



新焼津体育館の整備

予算額:11億2,124万円 **将来投資 強化**

■新焼津体育館が令和9年度にオープン

令和7年度から建設工事を行っている新焼津体育館は、令和9年度のオープンに向けて整備していきます。

新焼津体育館には武道場を新設し、武道競技など多目的に利用できる市民スポーツと交流の新たな拠点施設を目指します。



港地域交流センターの整備

予算額:4,883万円 **将来投資 強化**

■基本設計を実施

港地域交流センターの建て替えに向けて、地域や利用者の声を聞きながら、地域の交流拠点施設としての役割を果たすためのコンセプトやイメージを検討してきました。

今年度は、港地域交流センターの基本設計を実施します。



政策5 産業・観光 地域の魅力を活力に変えるまち

産業力の強化支援

予算額:7,150万円 **将来投資 強化**

■地域産品製造・販売力強化などの支援を実施
地域産品の製造・販売力の強化を図るため、必要な設備の設置や改修など、経営の安定に係る取り組みを支援します。

また、販路拡大のためのECサイトの開設や事業承継に係る経費の助成、新たに産業財産権の取得をサポートするなど中小企業を支援します。



人財確保支援

予算額:2,325万円 **将来投資 強化**

■子ども職業体験などを実施

将来を見据えた地域の人財（人材）確保につながるよう、地元企業による子ども職業体験事業を開催します。

また、人手不足に悩む市内企業を対象に、奨学金返還支援の取り組み費用の助成や、中小企業のIT導入支援のための専門窓口設置などを行います。



地域おこし産品の開発等支援

予算額:1億円 **将来投資**

■クラウドファンディング型ふるさと納税を実施

ふるさと納税制度を活用して地方自治体が不特定多数の人から資金を調達する「クラウドファンディング型ふるさと納税」により、生産力の向上などを目的とした大規模な設備投資や、新分野への事業進出をするための新たな工場整備などへの取り組みを支援します。



政策6 防災・都市基盤 安全・安心が日常になるまち

地域公共交通の充実

予算額:9,731万円 **将来投資 新規 強化**

■自動運転バスの実証 (予算額:5,000万円)

公共交通サービスの維持確保や交通事故の削減などの地域課題解決に向けて、特定条件下における「自動運転レベル4」を目指し、今年度は「レベル2」での自動運転バスの実証運行を行います。

「自動運転レベル2」とは、運転手が乗車しながら、アクセル・ブレーキ操作とハンドル操作の両方を、部分的かつ持続的に自動化した状態での運転支援のことです。

実証運行による課題などを整理した上で、公共交通の幹線軸であるバスとデマンドタクシーなどを組み合わせた、次世代へ持続可能な公共交通ネットワークの構築に取り組みます。

■デマンドタクシーの運営(予算額:4,731万円)

市内3地域(焼津インターチェンジ周辺地域、大島・三和地区、大井川地区)でデマンドタクシーの運行を行います。

今年度は、新たに「豊田地区の一部」と「東益津下根方地区」の2地区で試験運行を行い、公共交通空白地域をさらに解消します。



駅まち空間の整備

予算額:3,274万円 **将来投資 強化**

■焼津駅周辺におけるにぎわい拠点の創出

にぎわいの核となる拠点の創出を図り、多様な人々の交流を促す魅力的な空間形成を進めるため、焼津駅周辺の再編に向けて検討してきました。

今年度は、「駅舎・自由通路基本計画」などの検討を進めます。



流域治水プロジェクト

予算額:1億3,995万円 **将来投資 強化**

■水災害リスクに備えた「流域治水」を推進

気候変動により激甚化・頻発化する水災害リスクに備え、河川改修や雨水貯留施設などの整備による「流域治水」を計画的に推進していきます。

今年度は、石脇川や小石川、木屋川流域で、学校の校庭を活用した雨水貯留施設整備検討のための効果検証を行います。

水防監視システムの充実

予算額:735万円 **将来投資 強化**

■大雨時の情報収集体制の強化

市民の円滑な回避行動や早期の避難判断に活用するため、地下道などに冠水センサーを33基設置し、準用河川には水位計1基を新たに増設します。

また、複数情報を一元化した水防監視システムで、市内の情報をリアルタイムで発信します。

会下ノ島石津土地区画整理事業

予算額:7億2,280万円 **将来投資 強化**

■住みやすいまちづくりのための都市基盤整備

道路・水路・公園等の公共施設の整備と土地利用の効率化を促進させ、利便性、快適性、安全性などの住環境の向上を図り、健全なまちづくりを進めています。

今年度は、工事や建物移転がおおむね完了する「事業概成」を予定しています。

政策7 行政経営 未来へつなぐ持続可能なまち

スマートロックの導入

予算額:1,309万円 **将来投資 新規**

■スポーツ施設にスマートロックを導入

スポーツ施設の利用の際の「鍵の受け渡し・返却」を簡便化するため、スマートロック導入のための機器整備などを行います。

スマートロックは令和9年度からの運用開始を予定しています。



「推しまち焼津」推進

予算額:4,950万円

■焼津のファンを増やし、関係人口増へ

市公式ファンクラブ「づらづらのやいづクラブ」などを活用し、主に首都圏や県外在住者に向けて焼津の魅力を積極的に発信することで、認知度のさらなる向上と関係人口の増加を図ります。



焼津プロモーションの推進

予算額:4,000万円

■シティプロモーションの積極的な展開

テレビなどのメディアや、アンバサダーなどを活用したシティプロモーションを積極的に展開します。

市外における焼津市の認知度向上を図り、関係人口を増加させる取り組みを行います。



市制75周年記念事業

本市は今年で75周年を迎えました。この節目の年を市民の皆さんと一緒に祝うため、さまざまなイベントを開催します。※下記以外にも市制75周年記念事業の開催を検討しています。詳細が決定次第、随時お知らせします。



詳しくはこちら

■焼津みなとマラソン 4/5(日)

焼津みなとマラソン大会・大学対抗ペアマラソン大会と、関東学生陸上競技対校選手権大会ハーフマラソンを同時開催します。箱根駅伝出場校からもトップレベルの学生ランナーが集結し、さらに白熱したレースが期待されます。

■焼津みなとまつり関連 5/17(日)

会場を新港周辺に変更し、特別企画としてスペシャルパレードを実施するなど拡大開催します。

■クルーズ船初寄港 令和9年3/23(火)・27(土)

大井川港への初寄港に合わせ、歓迎セレモニーや、「食」をはじめとする焼津ならではの魅力を楽しめるイベントなどを開催します。

■焼津海上花火大会 10/24(土)

焼津の夜を鮮やかに彩る焼津海上花火大会を拡大開催します。